

栃木県教育委員会定例会会議録

令和5(2023)年12月19日(火)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者(教育長及び委員)は次のとおりである。

1 番(教育長)	阿久澤	真理
2 番	板橋	信行
3 番	鈴木	純美子
4 番	金子	達也
5 番	永島	朋子
6 番	松金	公正

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教育次長	大森	豊
教育次長	長	裕之
参事(高校再編推進担当)	佐瀬	学
総合教育センター所長	大高	栄男
教育政策課長	高林	実
施設課長	和久井	浩
学校安全課長	松本	正
義務教育課長	山岸	一裕
高校教育課長	山下	拡男
生涯学習課長	長野	辰男
健康体育課長	角田	正史
総務主幹	細川	智彦
教育DX推進室長	高橋	伸輔
人権教育室長	早乙女	寿雄
福利室長	堀内	玲子
特別支援教育課課長補佐(総括)	関	智遊

3 午後3時00分、教育長及び委員5名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、教育委員の陣内雄次委員が12月14日に任期満了で退任され、12月15日から新たに松金公正委員が就任された旨を告げた。

5 教育長職務代行者の指名及び議席の決定について、教育長は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、12月15日付けで、板橋委員を教育長職務代行者に指名した旨を告げた。

また、議席については、栃木県教育委員会会議規則第5条の規定に基づき、1番阿久澤教育長、2番板橋委員、3番鈴木委員、4番金子委員、5番永島委員、6番松金委員に決定した旨を告げた。

6 教育長は、本日の会議録署名委員に5番永島委員を指名した。

7 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

8 報告

(1) 令和5(2023)年度12月補正予算について

教育長から説明を求められ、教育政策課長が説明した。

この報告に関して、出席者から意見等はなかった。

(2) 令和5(2023)年度栃木県中学校・高等学校運動部に関する調査結果について

教育長から説明を求められ、健康体育課長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

[委員]

- ・ 競技別部員数で中学生、高校生とも上位にあるソフトテニス、高校生ではサッカー、バスケットが多いが、それは各学校にそれらの部活動が多いという理解でよろしいか。

[事務局]

- ・ 概ねそのとおりだと思う。当然、1部活動当たりの部員数も多く、部活動の数も多いということだと思う。

[委員]

- ・ スポーツ障害に関する調査結果で、痛みを訴える生徒数が減っているということだが、それは栃木県運動部活動の在り方に関する方針をそのとおり守って実施した結果という理解でよろしいか。

[事務局]

- ・ 平成30年度に定めた方針では、活動日は平日は5日間のうち4日間、休日は土日のどちらか一方とし、活動時間は平日2時間程度、休日3時間程度というある程度の規制を設けた。また、運動部に関しては、障害を予防するための1週間当たりの活動時間を11時間程度までに設定した。その成果をみるために、今回アンケートを取ったところ、このような結果だったので、方針が守られたのだろうという捉え方はしている。

[教育長]

- ・ このスポーツ障害の話もいろいろな因果関係があり、効果測定が厳密にできるわけではないため、その一つだけが要因ではないと思う。スポーツ医学なども進み、コーチの指導とか、野球でいうと玉数の制限であるとか、そういったもののトータルの成果であり、県で定めたルールも一定の寄与はしているのだろうと考えている。

[委員]

- ・ 中学生の部活動の部員数や加入率が年々下がってきている。こうした数字をみると、部活動に加入していない生徒は、小学生の頃は運動をすることができていたか、できていた場合、中学校に進学したときに何らかの理由で、運動から遠の

いてしまったのかなどが気になる。要するに、身近に運動できる機会がない、運動を敬遠するような生徒の数が増えてくると、体力的なこと、精神的なこと、人との関わりを持つコミュニケーション能力など大切な時期の過ごし方ができているのかが心配である。特に、中学校に入る前の過程が気になっており、連携した調査は多分ないと思うが、子ども達に何かよい機会を与えられればよいと思う。当然これから中学校は、地域部活動に移行するとなると、この数値がどうなっていくのか気になるので、何か情報があれば教えてほしい。

〔事務局〕

- ・ 小学校については、調査をしていないので把握していないというのが現状である。また、小学校から中学校に上がった段階での部活動に加入していない理由というのも、この質問の中では聞いていないので、具体的な理由は分からない。
- ・ 中学生の部活動に関しては、昭和62年から調査しており、当時は運動部の加入率が80%だったが、現状65%で15%減ってきていることを考えると、当然、子ども自体の数も減っており、その減ってきた生徒の中で加入率も減ってきている。こうして、中学校の部活動が減ってきている課題があり、今、地域移行を進めている。1校では難しい活動を大勢でやっという、地域で支えていこうという活動につながってきていると捉えている。これまでの調査結果をみても、国が進めている取組が裏付けられると捉えている。

〔教育長〕

- ・ この5年間を見ると、ちょうどコロナがあった3年を挟んで令和元年から5年までということだが、これを見る限り、特にコロナがあったから、何か大きな変動があったとは見えないが、そういう分析でよろしいか。

〔事務局〕

- ・ 確定的な考えはないが、中学生はなだらかに減少しており、高校も同じ状況のため、特にコロナの影響とは考えていない。

〔委員〕

- ・ 2ページの下の参考に運動部文化部の合計というのが出ているが、eスポーツのような活動はどちらに入るのか。

〔事務局〕

- ・ eスポーツは文化部に分類されるという認識である。運動部には入っていない。

〔教育長〕

- ・ 先日宇都宮でeスポーツの大きな大会があり、県外から多くの方が来たという話を聞いているので、eスポーツも拡大傾向にあるということは間違いないと思う。運動部と掛け持ちでスポーツなのか、eスポーツ専用になっていくのか、少し時代の流れを見て行きたいと思う。

9 教育長は、審議に移る旨を告げた。

10 第1号議案 令和6(2024)年度教育委員会事務局等職員定期人事異動基本方針について

第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、出席者から次のとおり意見があった。

〔委員〕

- ・ 全体的な異動のイメージのことで伺いたい。教育委員会職員は全体で何人ぐらいいて、毎年の転出転入のどんなイメージで変わっていくのか。

〔事務局〕

- ・ 全体的には、1/4の動き以外に上層部があり、1/3以上は異動している印象である。
- ・ 人数については、後ほどお伝えする。

〔教育長〕

- ・ 管理職は1～2年で異動し、一般職はだいたい4年を基本に異動しているが、平均してだいたい1/3ぐらいずつ異動している。
- ・ 特に、去年との違い、今年の特徴はあるか。

〔事務局〕

- ・ 基本的には、最初に申し上げたとおり、定年延長が今回初めて導入されるので、これまで「再任用」としていた記載を「60歳以上の職員」と変えたところ以外は細かい文言の調整のみである。

〔事務局〕

- ・ さきほどの人事異動に係る職員数についてお答えする。事務局の職員数総数は令和5年度の段階で433人おり、異動人数が187名となっている。

- 11 第2号議案 学校職員の勤務時間その他の勤務条件に関する規則の一部改正について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
この議案に関して、出席者から質問や意見はなかった。

- 12 第3号議案 事務長に給料の特別調整額を支給する県立学校及び給料の特別調整額の支給額を定める規則の一部改正について
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
この議案に関して、出席者から質問や意見はなかった。

- 13 第4号議案 「栃木県教育委員会子育て応援・女性活躍推進行動計画」の一部改定について
第4号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
この議案に関して、出席者から次のとおり意見があった。

〔委員〕

- ・ 男性教職員の育児休業取得率について、ちなみに現在は何パーセントか。

〔事務局〕

- ・ 昨年度の数字では11.5%である。

〔委員〕

- ・ 11.5%から令和7年度までに50%にするというのは大変だと思うが、どうか。

[事務局]

- ・ どうしても自分が休んでしまうと、他の教職員に負担をかけてしまうのが心配だということ、また教員特有のところだと思うが、1年間通じて授業の計画を立てているため、休みにくいということなどで取得が進まないところがある。今の世の中の流れに沿って、取得に前向きになるような職場の雰囲気づくりとか、他県の先行事例や知事部局の例を参考するなどして、引き続き取り組みを進めていきたいと思う。

[教育長]

- ・ ちなみに知事部局の取得率はどうか。

[事務局]

- ・ 知事部局は、令和4年度は40.6%である。

[教育長]

- ・ 知事部局は、令和7年度には100%が目標となっている。

[事務局]

- ・ なかなか教育委員会の方は、実態がそこまでいっていないのと、国が示している目標も知事部局に比べて低く50%としているので、とりあえずその50%を目指すということで目標を設定した。

[教育長]

- ・ 新聞記事にも出ていたが、知事は100%と表明したので、教育委員会も100%としたいところだが、先ほど言ったように、まだ実績が約11%なので、やはりまずは50%を目指していくということにしたい。

14 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午後3時35分、閉会した。